

A飼料

種豚用混合飼料

New

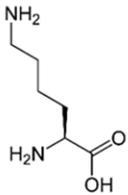
# リターコネクト

- ★ **授乳期母豚の乳量**  
**・乳質の確保に！**
- ★ **暑熱ストレス時の**  
**栄養補給に！**



## 活性型酵母 (サッカロマイセス セルビシエ ブラディアイ)

活性型酵母が母豚の健康を維持するとともに、乳量・乳質を確保して子豚の発育をサポートします。



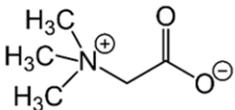
## アミノ酸、ビタミン、エネルギー

授乳期や、食下量が落ちる夏季などに不足しがちな栄養成分を補給します。



## ガーリック粉末、ハーブ成分

母豚、雄種豚の元気、活力を保ちます。飼料の食下量の改善にも繋がります。



## ベタイン

ベタインは高い吸湿性をもつ浸透圧調整物質です。抗酸化成分のグルタチオンの産生を維持します。

### ◎ 添加量の目安

- ◆ 母豚：一日あたり50～100g  
(配合飼料中1～2%)
- ◆ 雄豚：一日あたり25～50g  
(配合飼料中0.5～1%)

### ◎ 給与期間の目安

- ◆ 母豚：分娩1～3週間前から離乳まで
- ◆ 雄豚：暑熱期の元気を維持したい豚に2～4週間

## 素材のご紹介

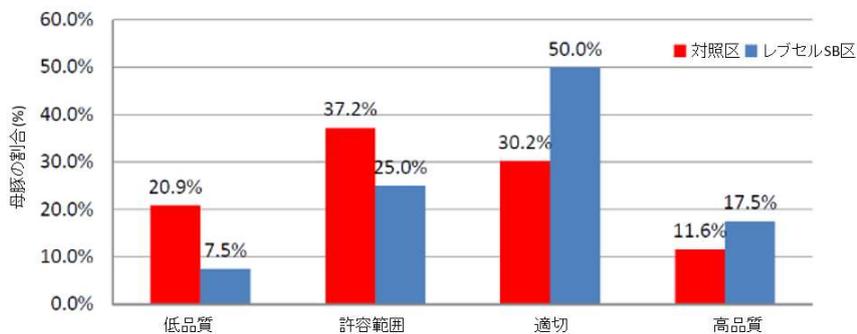
### 「活性型酵母（サッカロマイセス セルビシエ ブラディアイ）」

生きたまま腸まで届く酵母です。

その中でも**特に豚に合った株を厳選して採用しました。**

この酵母については下記の研究報告があります。

- ◎ 繊維発酵促進により糖を生成し、エネルギー源を増加させる。
- ◎ 初乳中の免疫物質、IgG、IgAの含量を増やす。
- ◎ 腸内の代謝活動により、乳酸菌など善玉菌が増える。
- ◎ 酵母が腸内細菌叢を安定させることで、食物の通過速度と便通を適切に保ち、便通が安定することで分娩時間が短縮し母豚の損耗低減につながる。



図：糖度計値による、初乳中IgG濃度別の母豚の割合  
(ラレマンドバイオテック社HP:2019年10月23日レブセルSB 15周年記念講演会のご報告から引用)

飼料の名称	リターコネクト
飼料の種類	種豚用混合飼料
入目・形態	20 kg/袋、マッシュ
飼料添加物	ビタミンA、ビタミンD <sub>3</sub> 、ビタミンE、ビタミンB <sub>2</sub> ビタミンB <sub>6</sub> 、葉酸、ビタミンB <sub>12</sub> 、リジン、トレオニン L-バリン、メチオニン、着香料
原材料名	米ぬか油かす、飽和脂肪酸、無水ケイ酸、ガーリック粉末 ベタイン、サッカロマイセス セルビシエ ブラディアイ 植物性硬化油

製造元

ニッチク薬品工業株式会社

<https://www.nichiku.co.jp>

〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2630

TEL 0467-78-0881

FAX 0467-71-3622

販売元